

鈴鹿バルーンフェスティバル2018 PRイベント 報告書

1 日 時

平成30年11月24日（土）9：00～13：00

2 場 所

鈴鹿川河川緑地（鈴鹿市庄屋町981-1）

3 参加者

紀北はまち座 2名

4 目 的

尾鷲市・紀北町を中心とした東紀州地域への観光誘客を目的として、パンフレット等の頒布によりPR活動を行う。「鈴鹿バルーンフェスティバル」は三重県北勢地域のほか、県外からの参加者も見込まれ、ひろく県内外の人々へPRするにあたり有用なイベントである。

5 実施内容

当日のタイムスケジュールは次のとおり。

- 8：30…会場駐車場集合
 - 8：45…パンフレット、幟、熊野ありこをブースに搬入
 - 9：00…ブースでPR開始、熊野ありこの準備
 - 10：00…気球搭乗体験場近くに移動し、四日市市のこにゅうくんと一緒に熊野ありこをPR（写真撮影）
 - 10：30…ブースに戻ってPR再開。一部パンフレットがなくなり始める。
（11：30～12：30 昼休憩）
 - 12：30…パンフレット全てを頒布。
 - 13：00…撤収
- 予定では他団体（鈴鹿市、四日市市）との共同ブースのためスペースが狭いと予想されたが、はまち座で机一つ分使わせてもらった。
 - 写真のとおり観光情報のパンフレット（三重県、尾鷲市、紀北町、熊野古道）と缶バッジ2種を並べ、机横に幟を立てて東紀州とはまち座をPRした。



- 晴天でバルーンフェスティバルのお客さんが多く、また、午前中は熱気球搭乗体験がイベントのメインとなっており、体験場所へ行く途中にブースがあったため多くの人にブースを覗いてもらえた（なお、翌日の新聞朝刊によれば、イベントの集客は24日のみで8万人であった）。
- ブースを訪れる方の客層は子ども連れが9割程、その他ご年配の夫婦等が1割程であった。子どもには缶バッジを、親には尾鷲・紀北のパンフレットを頒布し、ご年配の夫婦には熊野古道のパンフレットを頒布した。
- 東紀州は多くの自然体験ができること、食べ物（特に魚）がおいしいこと、鈴鹿から1時間半程度で行けることを中心にPRした。
- 年配の方で熊野古道に興味のある方は多くいたが、「入念な準備が必要なのではないか」「足腰を痛めるのではないか」といった声もあり、コースによっては気軽に歩けるところもあること、語り部がいることをPRした。



- 10時頃に熱気球搭乗体験場所で四日市市のゆるキャラ・こにゅうどうくんがPRのため登場することなので、熊野ありこも一緒にPRを行うことにした。
- 熱気球搭乗体験待ちの方を中心に、熊野ありこを背負って写真を撮りたいという方がいたので、記念撮影を行った（子どもを中心に10人程）

- 10時半頃にはブースに戻りPRを再開したが、パンフレットが順調に捌けていき11時頃には熊野古道のパンフレットがなくなった。昼食休憩後には用意したパンフレットがすべてなくなったため、缶バッジを渡しつつ片づけを始め、13時に撤収した。

○ 頒布結果

パンフレット…全て（三重県観光ガイドブック・わお！マップ各20部、尾鷲市・紀北町・熊野古道のパンフレット各30部）

缶バッジ…111個（はま千太郎デザイン：75個、はまち座の「は」デザイン：36個）

